



つどいの樹

第6号

～ 学ぶ会だより～

2021年12月1日発行



スリ・ジャナタ小学校（ネパール）訪問記

数年前、ネパール連邦民主共和国を旅した。首都カトマンズからワゴン車に揺られて3時間、山間にあるスリ・ジャナタ小学校を訪ねた。生徒の代表がハイビスカスのレイをかけて歓迎してくれた。校舎は急斜面の崖に建っている。2時間近くも歩いて通う子どもたちも多い。5年生の教室を覗くと、算数の教科書を開いている。全ての教科書が英語表記だった。「学校に来るのが好きな人？」という先生の問いかけに子どもたちが一斉に手を挙げた。純真な笑顔だった。カトマンズの教育長は「ネパールは発展途上の国だから、国際的に生きることが必須です。30余の民族がそれぞれの言語で話す現状を、英語で一斉に教育することでグローバルな知識を獲得させたい」と話してくれた。

（写真・文 千葉保）



「焼け跡からの出発」から生まれる問い

山田 麗子 （「学ぶ会」副代表）

学び舎教科書の第10章(1)「焼け跡からの出発」には、戦後初の衆議院議員選挙に立候補し、戦争反対を訴えた山口シヅエの写真を置いています。東京大空襲で家と工場を失った話、愛する弟がフィリピンで戦死した話（餓死だった）をすると、聴衆は涙を流しました。

「今、選挙演説を聞いて涙を流す人はいるだろうか」「山口の話聞いて、なぜ人びとは涙を流したのだろうか」と生徒たちに聞いてみます。フィリピンでは50万人以上の兵士が、日本全体で230万人の兵士が死亡しました。山口の話に重ねて、人びとは失った家族を想ったのではないのでしょうか。選挙区は東京1区、東京大空襲の被害地でした。山口は焼け野原になった跡地に立って、二度と戦争をしてはならないと訴えたのです。多くの人の思いを集めて、激戦区の東京1区で2位（当選者10人中）での当選を果たしました。

この時、39人の女性議員が誕生し、衆議院議員に占める割合は8.4%と世界最高でした。しかし、その後、世界各国がジェンダー平等のもと女性議員を増やしていく中、日本は大きく立ち遅れます。今回の2021年衆議院議員選挙で女性議員は9.7%、なんと前回より減少して、190カ国中168位とまた順位を下げました。「焼け跡からの出発」から生まれる問いは、今日の社会の課題にもつながっていきます。

風のいろ 「焼け跡からの出発」から生まれる問い	山田 麗子・・・2
今・学校で・教室で 初めてづくしの中学2年生	池本 恭代・・・3
交流の広場 とともに学ぶ場で	市川 まり子・・・4
大学のキャンパスから 教科書から他者を実感する ーなぜ学び舎教科書を大学の授業で使うのかー	齋藤 一晴・・・5
歴史の窓 戦前の「基地闘争」ーデモクラシー・軍縮の裾野	荒川 章二・・・6
授業づくりの土おこし モノから学ぶ歴史 ④ 生きている衣食住の貯蔵庫～ヒツジ～	瀬戸口 信一・・・7
ようこそ教科書の舞台裏へ アジア太平洋戦争への思い その3 シンガポールの南方軍防疫給水部の真相	高嶋 道・・・8
学びを深める 第6回 平等ってなあに？ 平等権について学ぶ	菅間 正道・・・9
随想 連載⑤ 幸徳秋水 非戦の碑	黒田 貴子・・・10
読者の声	・・・11
学ぶ会からのお知らせ	・・・12

初めてづくしの中学2年生

池本 恭代（東京都公立中学校教員）



コロナ禍の大規模校の生活

私が勤務する公立中学校は、1年10クラス、2年と3年が8クラス、各学年に特別支援学級があり、計29学級の都内一の大規模校です。とにかく人が多いので、感染防止上、他校ではすでに日常的に行われていることでも、できない（していない）ことがたくさんあります。学年で体育館に集まったのも入学後、数回。全校で集まったのは、体育祭、避難訓練、卒業生を送る会として行った「校歌を歌う会」（いずれも校庭）のわずかな機会だけです。

初めての・・・

昨年度の全校行事、学年行事は軒並み中止。学年で校外に出たこともありません。しかし、今年度は規模を縮小しつつ、まずは体育祭が行われました。例年、学年種目は大縄跳びですが、一人ずつ縄を跳んで駆け抜ける「8の字縄跳び」に変更し、クラスを2チームに分け、それぞれのチームが5分間跳んだ合計回数を競いました。

私のクラスは話し合いで、運動能力別に「速めの縄を跳ぶグループ」と「少しゆっくりの縄を跳ぶグループ」を編成し、別室登校している生徒2人も含めて、「はい！」とか「いいよ、いいよ！」、「その調子！」、「ペース上げて！」などと、失敗しても前向きな声を掛け合いながら練習を重ね、見事優勝しました。練習自体が楽しかったようです。

そして先日、彼らにとっては初めての合唱祭が行われました。初めての校外での行事、バスや電車で現地集合するのも初めて、公共の場で並ぶのも初めてです。学年全体で並ぶこともほとんどないので、並ぶのに手間取りました。ホールの収容人数の関係上、合唱祭は学年ごとに、生徒・保護者を総入れ替えして行いました。感染リスクを高めないように、ずっとマスクを着けたままで練習し、当日もマスク越しの歌声です。しかし、当日はどのクラスもホールに素敵な合唱を響かせることができました。3年生の迫力ある合唱に触れられなかったのが残念です。

行事で成長する生徒たち

- 合唱祭の振り返りでは、
- ・クラスの一人ひとりが努力したおかげで完成した曲だったから、歌い終わった後の達成感は、言葉にできないほどだった。
 - ・実行委員が、俺のことをほめながらアドバイスしてくれたので、めっちゃ嬉しかった。
 - ・練習中に、誰かがアドバイスをしたら、それをクラスの人みんなが受け入れる姿勢で、素晴らしいことだなと思いました。私は、歌がうまくないので、最初は『すごいやだな』という気持ちがありました。一人ひとりが真剣にやっているところを見て、『ああ、がんばろ』という気持ちになりました！
 - ・指揮者はとても緊張している中、必死に頑張っていたので、こっちもとてもやる気になった。みんなと何回も目を合わせてくれたので、こちらも合わせやすくなった。
 - ・このクラスは体育祭も優勝しています。でも、今回の合唱祭優勝は、気持ちの入り方やみんなの努力は全く違いました。体育祭は中心となる人がいて、その人についていったという感じでした。でも、合唱祭では一人ひとりがみんなを引っ張っていく感じで、体育祭に比べて団結力が強かったです。

などなど、周りの人と深く関わることで、自分の成長＋クラスの成長を実感している様子がうかがえました。もちろん、生徒達自身での日常的な「クラス作り」の努力の賜物でもあります。

毎日の激務の中では、行事の準備も一苦勞です。さらにコロナ禍では、教員の手間も増えます。でも、生徒は行事で大きく成長します。行事での人との関わりは、心を豊かにします。行事の後は、「やっぱり行事って楽しいな。学校って楽しいな」と、生徒と同じように思うのです。



ともに学ぶ場で

ちば自主夜間中学スタッフ 市川 まり子

ちば夜間中学をつくる会

全国の義務教育未修者約 13 万人と言われますが、更に不登校等による形式卒業者、外国から日本に働きに来た人とその子どもたちと、新たに学びたい人、学び直したい人、たくさんの人々が学びの場を求めています。

2016 年 12 月に「教育機会確保法」が成立し、各県 1 校以上の公立夜間中学設置が進められるようになりました。千葉市での夜間中学開設を求めて、2018 年 5 月に有志で「ちば夜間中学をつくる会」を発足し、10 月に実際の学びの場として高洲コミュニティセンターの講習室等を会場に「ちば自主夜間中学」を開きました。千葉市教育委員会にも協力を呼び掛け、公立夜間中学設置も働きかけ、おそらく全国的な流れもあって、2023 年 4 月に千葉市にも公立夜間中学ができますが、様々な人々の要望に応えられるような学校になるように、提案を続けていきます。

ちば自主夜間中学

自主夜間中学には、高校受験や高卒認定試験・大学受験・日本語検定を目指して学びたい人や日本語を習得したい人、いろいろと学び直したい人とそれを支援したい人、子どもも大人もまじって、毎回 40～50 人ほどが集って学び合っています。

コロナ禍によって、現在時間を短縮して、毎週木曜日の 17:30～19:30 (休憩・帰りの会含む) に開いています。一時休校も余儀なくされましたが、「どうしても学びたい人」のために、近くの café どんぐりの木のご協力で、ささやかに開き続けることができました。オンライン学習も始め、現在も希望者には続いています。

「ともに学ぶ人間の歴史」を使って—社会科グループ

個別学習の他にグループ学習もあり、自然に「社会科グループ」ができました。そこには始めから学び舎の教科書があって (子どもたちに教えてきた先生たちが作った教科書ということですからすぐに買ったと



いう方が持参)、私も手持ちの 1 冊を寄付し、買い足す人もいて、公民の教科書なども使って学習が始まりました。

何を学びたいかを話し合い、「今を知るために歴史を学びたい」ということで、あまり遡るとなかなか現代にたどり着かないので「明治維新」から始めたそうです。私は個別学習でお相手する方が休みの時だけの参加ですが、中心メンバーは不変で、時々顔ぶれが入れ替わり、8～10 人ほどでずっと続いています。

教科書の読み合わせから始まり、興味のあるところで立ち止まり、関連資料を持ち寄り、その時々々の史実に関して一緒に考え意見交換を重ねました。元中学の社会科の先生だった方が加わってからは特に資料も充実し、『教育勅語』の下で育った子どもたちは敗戦をどう受け止めたのだろうか? 「原子力発電所とアイヌ民族」など、「学び舎の教科書が使えなかった公立中学」で独自に行った授業の資料を持ち込み、教科書に沿って学びつつ、話はあっちこちに飛び、先日は「三・一独立運動」に関する DVD を上映して激論を交わしたそうです。

教科書を前に、ともに学び考える場ができています。こんな場が「学校」にこそ出現してほしいと思います。先日の衆院選でも特に若い世代の「低い投票率」を嘆くならば、まず、この国の学校教育と受験の在り方を変えなくてはと、話し合ったところです。大海に一石を投じる学び舎の教科書を出し続けていきたいと思っています。

大学の キャンパス から

教科書から他者を実感する

—なぜ学び舎教科書を大学の授業で使うのか—

齋藤 一晴（日本福祉大学教員）

教科書の「体温」

私は大学で社会科教育法を担当している。テキストは学び舎教科書を指定して学期末のレポートは、その特徴を活かした授業を構想し、指導案を作成する課題にしている。とある学生が、「絶えない戦火—冷戦の終結と新たな戦争—」のページを題材に指導案を作成した。その内容は、教科書に掲載されたアメリカの子どもが描いた同時多発テロの絵と、イラクの子どもがアメリカ軍の攻撃を描いた絵の2枚を比較するというものだ。

指導案には、「教科書の『体温』を感じる」とあった。「体温」とは、自分と同じ時代を生き、相対する他者がいることを実感したときに感じるものだという。彼は、教科書から初めて他者を実感したのである。それは、他者に向き合う自分を立ち上げた瞬間だったともいえるだろう。

共感と教員の役割

指導案に記された授業展開は、2枚の絵を比較しつつ、それぞれの立場を調べ、最終的にどちらの立場により共感するか、というものだった。また、イラクの子どもの絵を説明する際には、学習経験の乏しいイラクの子どもたちが置かれた状況を知ってもらいたいという思いが熱く記されていた。

仮にこの指導案の通り実際に授業を行った場合、少なくとも子どもたちは、2枚の絵を比較する意味

よりも、イラクの子どもたちへのかわいそうという共感を生み出すだけで終わってしまうのでは

ないだろうか。それは、教員が子どもたちに答えを与えてしまう授業だと思う。この2枚の絵を授業で使う際、共感をどのように教員が位置づけるのか問われるだろう。

学生からの問いかけ

学期末のレポート提出後しばらくして、上記の指導案を作成した学生からその内容について話がしたいと連絡があった。話を聞いてみると、指導案の授業は、教員の思いが先行した授業になっていたと思うが、どうしたら改善できるか、というものだった。

私は自分自身が同じような課題、いうなれば独りよがりな授業に悩み試行錯誤してきたことを伝えた。そして、教科書から初めて他者を実感したことや、授業で生徒同士が交わすであろう2枚の絵への共感を大切にすることが欠かせないと伝えた。そのうえで、なぜ学び舎教科書に立場の異なる2枚の絵が載っているのかを考える必要性を話した。

私は、学生自身の指導案への分析力の高さに驚くとともに、これまで歴史教育で議論されてきた共感のあり方や教員が授業でどこまで生徒を導くのか、といった点に意識が及んでいることを感じる事ができた。

なぜ学び舎教科書を大学の授業で使うのか

教員をめざす学生にとって、学び舎教科書は、免許を取得するための授業の単なるテキストではなく、どのような教員になりたいのかを考え、深める存在になっている。そうしたいとなみは、過去の実践に学び、その積み重ねを教科書から感じることから始まるはずだ。

教科書から感じた「体温」を、学生が大学を卒業後、日々の授業でどう表現していくのかは、なにも彼らだけの課題ではない。私自身の課題でもある。こうした思いを授業を通じて学生たちと共有していくことも、大学の授業で学び舎教科書を使う理由のひとつといえないだろうか。



教科書 272 ページ



戦前の「基地闘争」ーデモクラシー・軍縮の裾野

荒川 章二 (コアアドバイザー・国立歴史民俗博物館名誉教授、同客員教授)

基地闘争と言うと、朝鮮戦争後の基地反対闘争や沖縄基地問題が想起されますが、この小文では戦前版基地闘争を掘り起こし、デモクラシー状況形成の一翼として考えて見ます。

軍用地をめぐる紛争の増加

戦前は軍隊の存在が天皇の統帥（指揮命令）権限や兵役義務として憲法で認められていた社会ですので、軍隊-社会の関係から見れば、地域社会が防衛や経済的効果を期待して軍隊を積極的に誘致する例も多かったのですが、他方で、軍事施設移転の要求、実弾演習制限、演習場・飛行場の設置拡張への反対も相当の件数を数えました。その一端は参考図書で示しましたが、日露戦後のデモクラシー的社会状況が現れた時期から軍用地をめぐる紛争が増加し、デモクラシー化のピークをなす 1920 年代前半に山場を見せます。

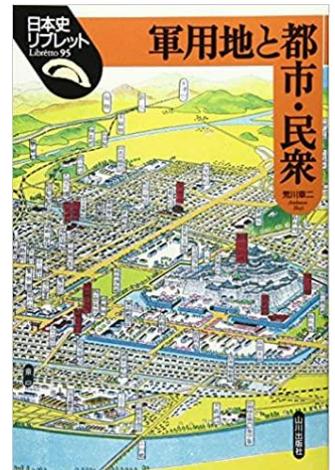
民衆的立場からの法治主義

日露戦後は陸軍が 13 個師団から 19 個師団に拡大し、砲撃力を高めるべく実弾演習用の巨大演習場整備を進めた時期ですが、それは演習実施や演習場新設・拡大への抗議の増加を招きます。代表例が富士裾野演習場（現東富士演習場）の開設時に見られ、本格的演習利用が始まる 1909 年、関係村々は、陸軍への共有土地献納の合意事項を無視して演習を強行しようとした陸軍部隊に対し、「貴隊は如何なる国法上の権利ありて本共有地を御演習に御使用せらるや」と抗議し、続く 1911 年の演習場拡張に伴う土地買収の際には、買収対象となった村の代表が陸軍省軍務局長と直接交渉し、買収面積の大幅縮小・補償額の大幅増、および演習場使用協定締結にこぎつけます。長く厳しい交渉を支えたのが、自治意識と「憲法上保障せられたる所有権」でした。この時期は、都市民衆運動が、立憲政治確立・国民意志の尊重を基軸として展開された時代ですが、法治国家観は山村まで浸透し、陸軍権力に対峙すべく立憲政治の理念を民衆の側に引き寄せていった姿が見えます。

軍縮世論高揚期の演習規制

1920 年代前半は戦前唯一の軍縮世論高揚期で、シベリア出兵反対・撤兵論と軍縮要求が重なり、陸軍は 8 個師団に相当する 10 万人の常備兵力削減を実施します。陸軍はこうして軍縮論を鎮めつつ、削減で浮いた予算を航空戦力・化学戦研究などに回しますが、近代化に必要な軍用地獲得は容易く進みませんでした。三重県明野陸軍飛行学校は、所沢飛行学校に続く陸軍第 2 の航空兵教育機関ですが、1920 年、飛行場用地売買取り消しが集落の区民総会満場一致（294 人）で決議される事態となります。区民は、契約条件を無視した陸軍の専断を新時代の「官憲」にそぐわず無責任と断じます。また、関東有数の砲撃演習場であった下志津演習場（千葉県）では、軍縮世論の頂点にあった 1921 年下半年に演習事故が続発しますが、陸軍中央は、この事例のような演習事故への対応不備と遅延は、現地部隊の責任問題を超えて軍批判を招き、「軍隊と地方との関係に悪影響を及ぼし陸軍の威信にも」響くとして全軍への注意を促しました。

陸軍最初の戦闘演習場である習志野演習場（千葉県）では日清戦後の 1899 年、射撃方向の村より射撃日数制限の請願があり隔日実施となり、1924 年の請願でさらに半減し年間 97 日に制限されます。時代を背景にした現地抗議は実戦的訓練も規制しました。1930 年の村民 192 名連署の陸相宛上申書では、戦闘射撃演習の廃止要求まで至りますが、時代は暗転、民衆の演習規制は習志野演習場利用の巧妙な転換（習志野学校）として切り返されていきます。



* 『軍用地と都市・民衆』（山川出版社、2007 年）

『増補 軍隊と地域：郷土部隊と民衆意識のゆくえ』（岩波現代文庫、2021 年）

モノから学ぶ歴史（子どもたちと学んだ世界地理の実践から）

④ 生きている衣食住の貯蔵庫～ヒツジ～

瀬戸口 信一（元公立中学校教員）



羊と人間は、1 万年以上にわたる壮大な歴史を織りなしてきた。羊毛でつくられた帆でバイキングは旅をし、ペスト菌は羊毛貿易によって広がり、また産業革命では羊毛工場で多くの子どもたちが過酷な労働を強いられた。



◆羊毛は繊維の王様！

まず、子どもたちに「今着ている服の材料は何だろう？」と問う。自由に発言させたのち、生糸・綿花・羊毛・カシミア・麻・合成繊維の繊維を配り何の繊維かを予想させる。その後「下着は？」「木綿が多いね」「ジャージは？」「これは化学繊維」「標準服は？」。ここで上着のタグを調べさせ、化学繊維とウールの混紡であることを確認。

さらに「羊毛の特色は？」と聞くと「暖かい」「高級」「肌触りがいい」・・・。「そうだね。暖かく着心地がいい、水をはじき汚れにくい、着崩れしないなどの特色があり、『繊維の王様』として、高価なコートやスーツに使われている」。

◆羊毛の産地～オセアニア（オーストラリア等）～

「日本で、羊毛を生産している？」「羊の牧場は、見たことない！」「日本では羊はほとんど飼育していないね。羊は、湿気のある日本の気候や風土に合わない。だから羊毛は、ほとんどが輸入だ。どこから輸入している？」。ここで、「羊毛の生産と日本の輸入先」の資料を提示する。「何が分かる？」と問うと、「輸入の三分の一がオセアニア」「オセアニアは羊の頭数は世界のトップクラス」と発見する。

「オーストラリアは、人口2500万人を超える7000万頭の羊を飼っている。なぜこれほど多くの羊を飼っているの？」「元々オーストラリアに羊がいたの？」



「他から連れてきた？」など予想させる。年表で200年前イギリスがオーストラリアを流刑植民地にしたとき、羊を連れてきたことを確認したのち、「なぜ牛や豚ではなくてヒツジなのか？」を考えさせる。子どもたちは自然の特徴と羊の特徴を重ね合わせて次のように考えた。「えさになる草原」「乾燥した気候・風土」「羊の肉や乳は食用」「毛皮や羊毛は服」「家（テント）にもなる？」。さらに「群という漢字の中にある動物は？」と問う。「羊」「それはどんな意味？」「羊は群れる動物。だから人間は草原でも世話しやすい羊を選んだ」。

そうだ羊さえいれば、農耕のできない荒地でも人間は生きていける。200年前、オーストラリアに移り住んだイギリス人は、羊を「腐らない衣食住の貯蔵庫」と呼び、大切に育ててきた。子どもたちは羊の持つ驚異のパワーを実感する。

◆ヒツジの家畜化～ムフロンからメリノ種へ～



「メリノ種の特徴は？」「毛が白い」「毛が長い」「ふわふわ」。「野生種ムフロンの特徴は？」「毛が茶色」「毛が短い」「ごわごわ」と対照的だ。

「ムフロンは、西アジアなどの山岳地帯に群れをつくって暮らしていた。この野生の羊は、どうやってメリノ種になったの？」「品種改良？」「そう、生まれた羊の中で毛が長く柔らかで色が白い個体を残し繁殖させていく。人類は長い時間をかけてメリノ種を誕生させた」。

◆「羊」の利用法

羊は、食用・繊維だけではなく、弦楽器の弦・打楽器の革・ピアノの音を叩くフェルトから口紅の素材・化粧品や石けんの材料などまで、私たちの暮らしに欠かせない素材を提供している。このような学びを通して、子どもたちは、人類史の中での家畜の持つ意味と現代の私たちの暮らしの中で羊という家畜がどのような役割を果たしているかを深く考えられるようになる。



アジア太平洋戦争への思い その3 シンガポールの南方軍防疫給水部の真相 高嶋 道 (元中学高校教員)

1942年2月にシンガポールを陥落させた日本軍は、エドワード7世記念医科大学(写真①)を接收し、南方軍防疫給水部(岡9420部隊)本部を設置しました。本来は軍隊への伝染病を防ぎ、安全な飲料水を供給するための施設ですが、ここで秘密裡にペスト菌を使った細菌兵器の研究を行っていたのです。

ペスト菌は、感染率が非常に高く、中世ヨーロッパの14世紀には、ペストのため人口の3分の1以上が失われました。実に恐ろしい病気です。

ペスト菌の研究と培養をなぜシンガポールで

当時の中国ハルビンに設置されていた関東軍防疫給水部(731部隊)の研究で、ペスト菌を植えつける蚤の繁殖は、摂氏22℃、湿度76%が最適で、それには熱帯がふさわしかったのです。

計画された細菌兵器とは、ペスト菌に感染した蚤を陶器に入れ爆弾として空から投下するというものでした。手順として、まずネズミにペスト菌を注射し感染させます。そのネズミに大量のノミをたからせて血を吸わせるのです。

ノミの寿命は30日。いつでも兵器として使用できる準備をしておかねばなりません。活きの良いノミと大量のネズミが必要で、現地でのネズミの捕獲では、全く不足でした。そこで日本軍は埼玉県などの農家とネズミの飼育契約をし、ネズミを確保したのです。集められたネズミは、立川飛行場からシンガポール飛行場に空輸され、ここから本部と2カ所の施設(後述)に運ばれ飼育されました。計画では5万匹だったそうですが、実際に運ばれたのは3万匹だったといわれています。

大量の細菌秘密兵器づくりは海を渡った郊外の地で

1つめの施設は、ジョホール州(現:マレーシア)タンポイの接收したブルマイ精神病院(写真②)です。患者を他に移動させ利用しました。ここは、人里離れた森の中、南北約6kmの広大な敷地、4mの高壁に囲まれた隔離病棟など、ペスト菌大量製造の秘密作業には最適でした。この所在を知ったのは『ノミと鼠とペスト菌を見てきた話 ある若者の従軍記』(竹花京一著、私家版、1991年出版)でした。

また、防衛庁防衛研究所図書室所蔵の『真田穰一郎少将日記』も研究者の分析で、この事実が裏付けられました。「南方軍『ホ』号(注:細菌戦)関係『アハ』(注:粟=ノミ)ノ生産ハ馬來(マレー)ノ精神病院ノアトデ黒『モチ』(注:ネズミ)ヲ使ヒ生産ス」(1944年11月の参謀本部部長会議の記録より)などの記述が見られます。

2つめは、ネグリセンビラン州(現:マレーシア)クアラピアの私立トンク・ムハマド中学校です。接收してネズミの飼育と買い集めをしました。当時軍属として働いていた大快良明さんが1993年現地を訪れ「運動場はネズミの餌とするためサツマイモ畑に変わった」と証言。地元の新聞記者も取材に来ました(写真③)。幸いにも岡部隊はこの作戦を実行しませんでした。国際法に禁じられていることもあり、思いとどまったと言われています。

1945年6月末、岡9420部隊の公文書や物資など証拠物件は軍用列車でシンガポールからタイを経て8月にラオスに到着。日本の敗戦直後に焼却されました。すべてが闇に葬られたのです。

日本軍による「大量殺人計画」の研究や実験の反省は未だに行われていません。しかし西山勝夫氏らの地道な調査により、この部隊の構成や名簿などが近年明らかにされ、出版されました。「消してはいけない事実」の追及は今も続いています。





子ども・若者を主権者／市民に育てよう―「知憲」「学憲」のススメ 第6回 平等ってなあに？ 平等権について学ぶ

菅間 正道（自由の森学園高校校長）

男女差別に当たるのはどれか

＜問い 次のうち、あなたが男女差別にあたりと考えるものはどれか＞

1. 世界バドミントン連盟が、公式戦における女子選手のスカート着用義務化を決定
2. 労働災害で顔に傷を負った場合、男女で補償額に差異があること
3. 九州大学が、2012年一般入試において理学部数学科定員9名のうち、5名を女性枠として優先枠をつくること
4. 女性専用車両をもうけること
5. 2019年、女子サッカー・ワールドカップ（W杯）で連覇を果たした、米国代表選手のミーガン・ラピーノ主将は、優勝記者会見でこう訴えた。「W杯の賞金金額は男子の4億ドル（432億円）に対し、女子は3千万ドル（33億円）、13倍もの差がある。これは不公平である」と。観客席からは「平等な報酬を」の大合唱がおきた
6. あなたが、これは「男女差別ではないか？」と思う具体例をあげよ

生徒たちの議論

上記は、平等権学習の「導入」のワークショップにおける問いかけである。平等ということばの抽象性を掘っていくのではなく――ちなみに『広辞苑（第六版）』では「差別とは区別である」と記されていた――具体的な事例について、差別か、そうでないかを考える入り口にした。

まずは、1から5のなかで、「差別だと思う」か「そうは思わない」かで一番数が拮抗したものを議論する。3や4が論題に選ばれることが多い。ちなみに、1は発表直後決定は覆り、2は差異がほとんどなくなっていて、3もすぐに優先枠はなくなった。ただ、3は、おそらく積極

的差別（アファーマティブアクション）を企図していただろうこともあり、議論は単純ではないだろう。

6については、生徒一人ひとりのリアリティが表明・交換されて、和やかな雰囲気になる。覚えているところで言うと、「プリクラが男子だけで入れないのはおかしい」「レディスデーがあるのに、メンズデーがない」「女子生徒のズボンはあるけれど、男子生徒のスカートはない」など、じつにいろいろな「？」や「！」が出された。

平等／差別というと、ちょっと眉を釣りあげて話をしないといけない雰囲気になるので、「ツカミ」だけでも誰もが意見をしやすい雰囲気のかなかでおこないたい――そう思っている。

憲法第14条・第24条

そして、憲法の14条や24条を紹介し、少しずつ本題に入る。近代日本における男女差別を、大日本帝国憲法下と日本国憲法下で大づかみだが比較する。家制度、性的自由における非対称性（姦通罪など）、政治参加や教育の機会からの排除などをおさえたいうえで、戦後、高度経済成長期に女性が労働力として求められるも、結婚退職制、若年（差別）定年制、昇進・昇格差別など、今から見たら「あぜん」の状況をおさえる。

本ネタとしては、憲法授業としてはスタンダードかもしれないが、住友セメント結婚退職訴訟や日産差別定年制訴訟などを扱う。『働く女たちの裁判 募集・採用からセクシャルハラスメントまで』などの頁をくれば、いくらでも事例はある。最後に、日産差別定年制訴訟を闘った、原告・中本ミヨの言葉も授業で紹介する。彼女はこう言った。「一歳の差別は一切の差別に通じる」と。となり、被告・学校側と争うこととなる。果たして生徒側と学校側のどちらの主張・対応が妥当なのか――。

連載⑥ 幸徳秋水 非戦の碑

黒田 貴子 (中学校講師)

大逆事件とは

国が間違っていました／幸徳秋水さん あなたは無罪です／2011年1月24日 日本国／世界中の街角に／ポスターを貼ってほしい...♪ (詩 笠木透 曲 佐藤せいごう)

この「ポスター」という曲は、幸徳秋水刑死100年の集会で発表されました。1910年に起きた大逆事件は、天皇を標的とする爆弾を試作した宮下太吉の逮捕が発端です。無関係の社会主義的思想を持つ人々数百名が逮捕され、12名が処刑されました。現在、大逆事件は、日露戦争で非戦論を唱え、韓国併合に反対するアピールを出すなどの活動をしていた幸徳秋水を狙った事件だということがはっきりしています。

大逆事件に抗議した人たち

幸徳秋水らの逮捕について、欧米諸国で抗議活動がおこなわれ、ロンドンでは1万5000人もの抗議集会が開かれました。

T: 日本国内では、外国での動きは知られていませんでした。どうしてかな? この事件のことを新聞は自由に書けたかな?

S: 書けなかった! 新聞紙条例があった!

T: 自由民権運動を抑えるために新聞紙条例が作られましたね。特に天皇に関することは書けませんでした。そんな中、小説家・徳富蘆花は、幸徳秋水たちの助命歎願書を書いていたの。でも、判決から6日という異例の早さで秋水たちは処刑されてしまいました。その直後、一高の弁論部の学生たちが講演の依頼に来て、蘆花は「謀叛論」という題の講演をおこないます。彼は「幸徳君たちは時の政府に謀叛人とみなされて殺された。諸君、謀叛を恐れてはならぬ。新しいものは常に謀叛である」と言い切りました。会場は、万雷の拍手だったそうです。

S: そんな大胆なことを言って蘆花は大丈夫だったんですか?

T: 蘆花には何もなくて、一高の校長が注意を受け

ただけだったそうよ。この事件に疑問を持った小学生もいました。住井すゑの『橋のない川』に、校長が大逆事件のことを児童に語る場面があります。「幸徳秋水らは日露戦争に反対しました。国の戦いに反対するとは、なんということでしょうか」。小説の主人公・畑中孝二君は、戦争に反対した人がいたのか! 戦争がなければ、父さんは戦死しなくて済んだのに、と思います。続いて校長の「やつらは世の中から金持ちをなくそうと考えたのです。人間はみな平等だから、と言うのです」という話に孝二君は、わかった! と思います。幸徳秋水は、みんなが幸せに暮らしていくことをめざしたのだ、と。これは、住井すゑ自身が小学生の時の体験だそうです。

名誉回復の動きが進む

戦後、この事件の再審請求を最高裁は棄却しました。しかし、犠牲者たちの名誉回復が進んでいます。秋水生誕150年の今年、秋水の故郷の四万十市に「非戦の碑」が建立されます。歴史の真実を明かす人々の努力が続いています。



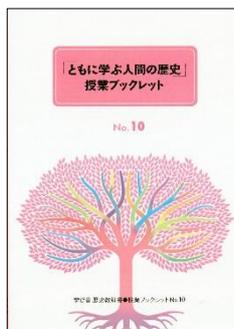


読者の声

クラウドファンディングに協力してくださった支援者の皆さまからのメッセージです。すべての声を載せたいところですが、紙幅の都合で一部のみ掲載です。ご容赦ください。

- もう退職していますが、学び舎教科書で勉強させて頂いています。
- 社会科教員です。本校では貴社の教科書を使わせて頂いています。これからも是非制作活動を続けて頂きたいと思います。
- 素晴らしいご活動、本当にありがとうございます。一人でも多くの子どもたちにこの教科書が広がり、生涯にわたり骨子となるよう心より祈っております、ご活躍を心から感謝とともに応援しております。
- 市民活動や女性の動きなど、いろいろな歴史を書いてあるのがいいですね。
- プロジェクトの成功をお祈りしております。教科書は大学のゼミで活用させて頂いております。
- 歴史で分からないことがあると、辞書代わりに索引で引いて読んでいます。子どもだけでなく、大人の学び直しにもぴったりです。
- この歴史教科書作りは大変意義のある企画であると、私は思います。本当の歴史を子どもたちに伝えることは、真の道德教育です。現在行われている偽者の「道德教育」なるものに対置できる真の道德教育は歴史をありのままに伝えることであると思います。
- ダントツに面白い教科書です。議論や対話を喚起する「民主主義のバトン」として、学び舎の教科書が全国の子どもたちに届くことを期待しています。
- 学び舎の教科書で学ぶ人を増やすことが、平和な未来を築くことだと信じています。これからも一人でも多くの人の手に渡ることを願っています。
- 私たちは内容を理解しています。多くの教師に伝わるよう宣伝を工夫できませんか。
- 学び舎の教科書を読みました。特に導入部に工夫があり、私だったらこんな風に授業を組み立ててみたいと思う内容でした。なぜ、どんな視点からこの単元を学ぶかということが示唆されている素敵な教科書です。
- 学び舎の教科書 2016 年版を読む会を、2016 年 6 月から月 1 回行っています。60~70 代の女性 10 人弱が、試験も宿題もなしに学ぶ楽しさを味わっています。学校の授業だけでない多様な「見方」を知ってほしいと中学生になる孫にもプレゼントしました。
- 週刊金曜日の植村隆さんの記事を読み、カンパ致します。子ども達の未来のために貴舎のご活躍を願っています。

「ともに学ぶ人間の歴史」授業ブックレット No.10



A5判 700 円+税
ご注文は学び舎へ

- ピラミッドのなぞ●周藤新太郎
多くのなぞが残るピラミッド。生徒も研究者と同じようにピラミッドのなぞに挑戦。
- 火山の麓、川のほとりから考える古墳時代像●石田千郷
タイトルに「火山の麓、川のほとり…」と入れた筆者の真意を読み取ってほしい。
- もし赤紙が届いたら・・・―銃後・個人の戦争責任を考える―●和井田祐司
徴兵忌避をした息子から手紙が届いた。母はその手紙を見て迷った。そして――。
- 『ともに学ぶ人間の歴史』の目次から始まる調べ学習●川口重雄
冒頭の目次、執筆者・編集者の意図がにじみ出たタイトルを見て、生徒はどんな感想を持つだろうと楽しみになった。ここからスタートした調べ学習。



学ぶ会からのお知らせ



●学ぶ会全体会に 55 人が参加。

一般社団法人「学ぶ会」第 11 回全体会を 9 月 20 日にオンラインで行いました。事業報告の後、市民学習会の報告と採択校からの授業実践報告が行われ、その後コアアドバイザー・大日方純夫さんが「コロナ禍のなかで『自由民権』を考える」と題して講演しました。多くの皆さまからアンケートにご回答いただきました。お寄せいただいた感想などは同封した別刷り「全体会特集号」をご覧ください。

●クラウドファンディングとカンパで支援金 1600 万円集まる。

クラウドファンディングは 8 月 30 日に終了しました。『週刊金曜日』で植村隆さんが紹介してくださったこともあり、その後も郵便振替などで多くの皆さまからご支援をいただきました。10 月末までに、最終的に 838 人からご支援いただき、総額は約 1600 万円になりました。心から御礼申し上げます。ご支援くださった皆さまに、リターンを 11 月中にお送りしました。お手元に届いていますか。なお、学ぶ会の口座にダイレクトで振り込みをされた方で、お名前・住所がわからないケースがありました。お心当たりのある方は、事務局までご連絡ください。教科書作成などに必要な資金が集まり、社員一同、より良い教科書づくりにとりくんでいく所存です。

◆歴史研究の雑誌に掲載されました。

『歴史地理教育』（2021 年 10 月号）に、山田麗子「ジェンダー視点の学びを生かした学び舎中学歴史教科書」が掲載されました。また『歴史評論』（2021 年 10 月号）が「民衆史研究の現在」を特集し、戸川点「教科書の中の民衆像」の中で、学び舎教科書のことも取り上げられています。

◆会員を 1000 人に拡大するためにご協力ください。

クラウドファンディングを通じて、全国の多くの方々に学び舎教科書のことを知っていただくことができました。はじめて学び舎教科書のことを知り、会員になってくださる方も増えています。1000 人に会員をひろげるために、新しいパンフレットをつくりました。ご友人やお知りあいの方に「学ぶ会」を紹介し、お誘いするときに使ってください。

◆A 2 会費未納の方にもう一度振込用紙を同封しました。

A 2 のコースの会員で、まだ第 12 期の会費（3000 円）の納入がお済みでない方に再度振込用紙を同封しました。お手続きをよろしくお願いたします。なおこの間に行き違いがあった場合はご容赦ください。詳しいことは別紙の「事務局だより」をご覧ください。

★授業ブックレット第 10 号を 11 月下旬に発売しました。

内容は 11 ページをご覧ください。第 1 号からバックナンバーをそろえて販売しています。ご希望の方は学び舎（manabisha-ek@cap.ocn.ne.jp）までご連絡ください。



一般社団法人
子どもと学ぶ歴史教科書の会（略称「学ぶ会」）
事務所住所 〒190-0022 東京都立川市錦町 3-1-3-605
メールアドレス manabukai@mbm.nifty.com
ホームページ <http://www.manabisha.com>
編集・発行 一般社団法人「学ぶ会」会報『つどいの樹』編集委員会